

平成29年度内閣府支援事業

第1回相模原市公民連携地域プラットフォームセミナー

資料1

相模原市の現状とPPP / PFIの推進について

平成29年12月18日

相模原市 企画財政局
企画部 経営監理課

主な内容

1. **本市の行財政を取り巻く状況と課題**
2. **PPP／PFIの必要性と課題**
3. **公民連携地域プラットフォームについて**

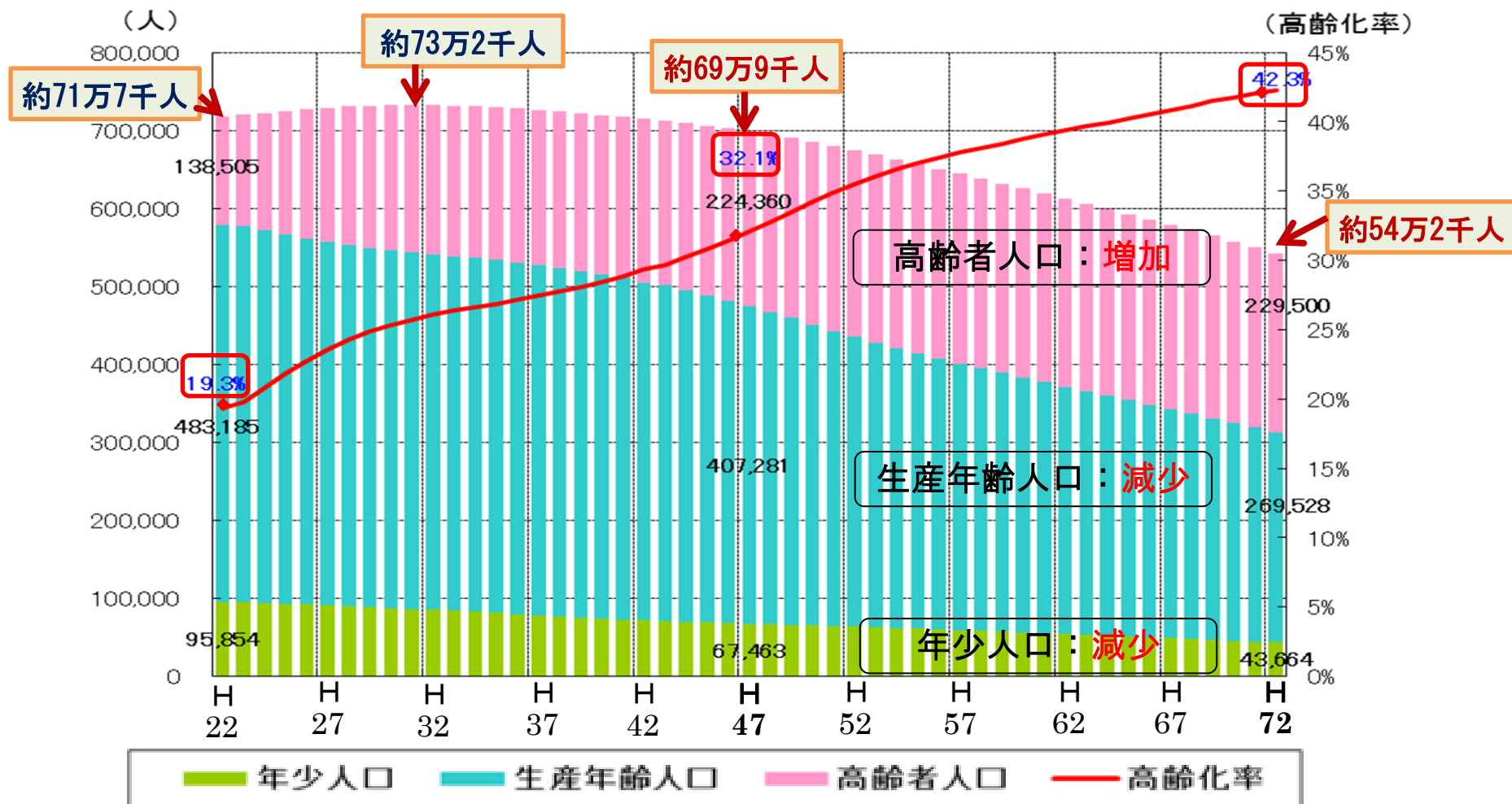
背景

- ✓ 平成31年度をピークに人口減少が見込まれる
- ✓ 少子高齢化の進行などによる社会保障費の増加
- ✓ 市民ニーズの多様・高度化、新たな行政需要への対応
- ✓ 老朽化が進む公共施設・インフラの維持管理費、改修・更新コストの増加

**経常収支比率※が102.5%となり、課題を抱える一方、
大幅な市税収入の増加は見込めず、厳しい財政状況が続くと想定**

※人件費・扶助費・公債費等の経常的経費に対し、地方税・普通交付税等の経常的財源がどの程度充当されているかを表すもので、財政構造の弾力性を示す指標(平成28年度決算)

平成31年をピークに、初めて減少局面に突入

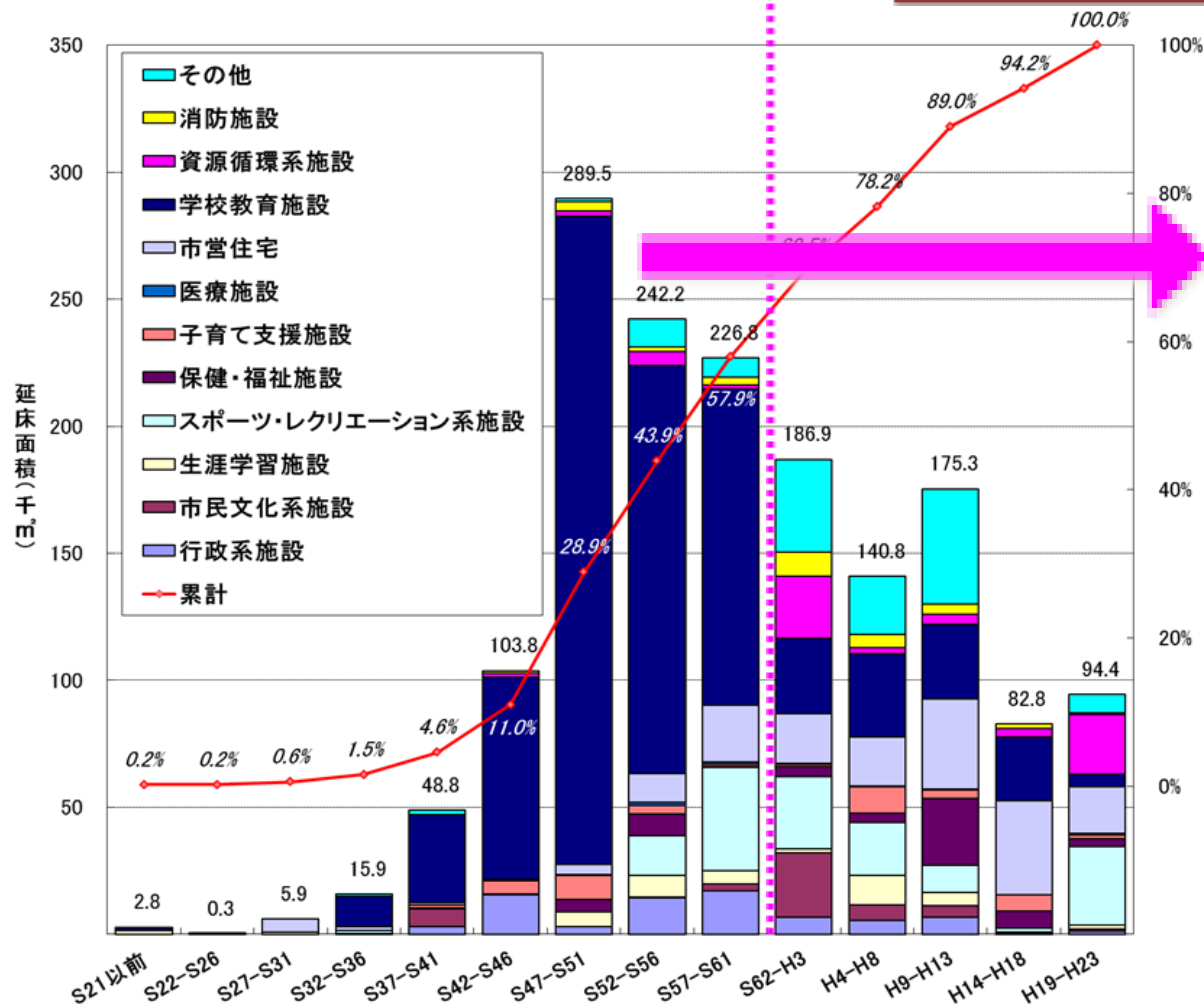


【出典：2010年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計】

公共施設の老朽化

公共施設の建設年度別延床面積の推移

昭和61年度までに半分以上の公共施設を整備
※建設後30年以上が経過

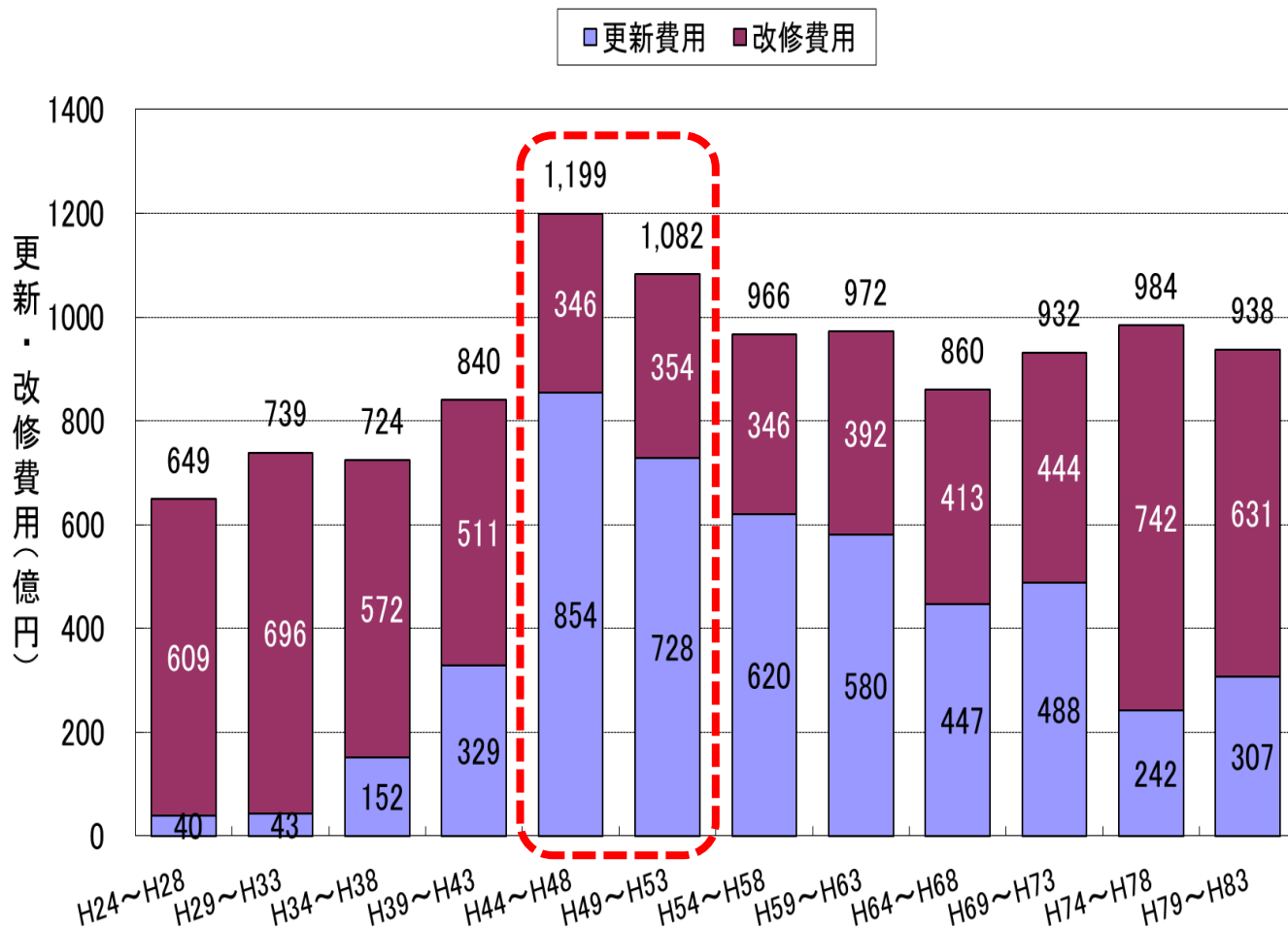


昭和47年から51年度が施設整備のピークとなっており、特に、学校教育施設は5か年で20万㎡を超えるペースで整備した。

【出典：相模原市公共施設白書】

公共施設将来コスト（改修・更新）の試算

平成44～53年度に更新ピーク時は、改修・更新に
事業費ベースで年平均で約230億円程度が必要



投資的経費、維持補修費、公債費の実績から、今後の改修更新に充てられる費用を、年間最大155億円と仮定した場合



ピーク時には
6割程度の施設
しか改修・更新
ができない。

【出典：相模原市公共施設白書】

公共施設延床面積削減目標：今後30年間で20%の延床面積を削減

施設総量の削減

- ・複合化
- ・集約化
- ・地域へ譲渡
- ・多機能化
- ・民間移管
- ・廃止



- ・サービスの適正化
- ・保有量の適正化
- ・将来コスト(改修・更新)の削減
- ・利便性の向上 など

<例> **複合化** …設置目的が異なる施設を一つの建物に整備

多機能化…設置目的が異なる施設を、両方の機能を合わせ持つ一つの施設として整備

集約化 …設置目的が同じ施設を集約（統廃合）して整備

施設の長寿命化 適切な維持管理

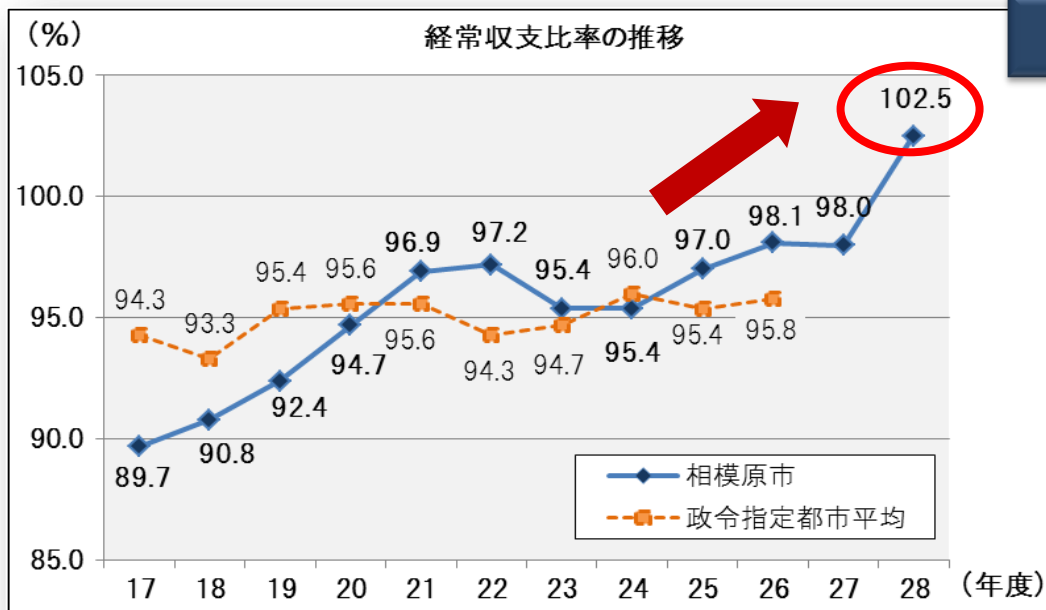
- ・予防保全の視点に基づく計画的な修繕
 - ・施設の優先順位の整理
- 優先度の高い施設から修繕、改修・更新



- ・管理運営に要する費用の削減
- ・将来コストの削減
- ・利用者の安全確保 など

【出典：公共施設の保全・利活用基本指針】

- ・民間委託等の手法を活用した効率的・効果的な管理運営
- ・更新・改修に当たっては、PPP / PFI手法を活用

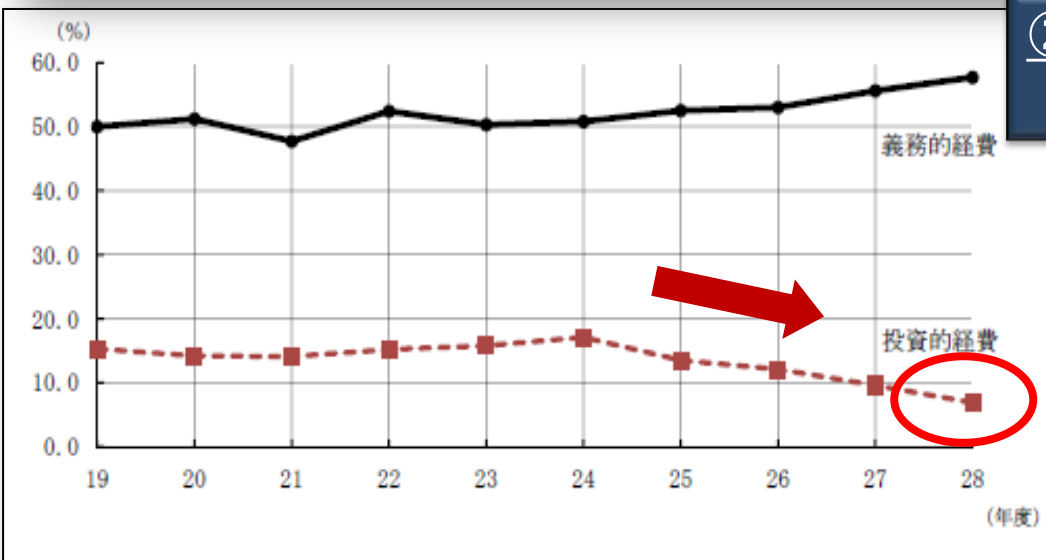


① 経常収支比率の推移

⇒ 余剰財源が少なく、
財政の硬直化が進んでいる。

・ H28年度 102.5%

※ 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す割合



② 義務的経費と投資的経費の 歳出総額に占める割合の推移

⇒ 投資的経費
(普通建設事業費等) の割合は、
年々低下している。

・ H28年度 6.9%

一方、広域交流拠点の取組等、 将来へ向けた大規模プロジェクトが進行中

- ✓ 圏央道の開通によるインターチェンジ周辺の整備
- ✓ リニア中央新幹線の神奈川県駅設置に伴う周辺整備
- ✓ 相模総合補給廠の一部返還地・共同使用区域の活用
- ✓ 小田急多摩線の延伸の実現化に向けた取組 等



相模原市 P P P（公民連携）活用指針 【平成26年12月策定】

3つの 基本的な 考え方

1. 民間が担うことができるものは、民間に委ねる。
2. 従来の枠組みを超えた新たな発想により、事業の実施手法を見直す。
3. 最少経費で最大効果のサービスの実現を目指す。

方針1 新たな発想による P P P 活用

民間等が有するノウハウや工夫、専門知識が公共サービスに反映されるよう、市の関与を可能な限り最小限にするよう努め、業務を細分化し再構築することや、共通業務を集約化させるなど、既存の枠組みにとらわれることなく、新たな発想による P P P 活用を図る。

方針2 適切な P P P 手法の選択

民間等が担うことができるものは、最適な担い手による公共サービスの提供が行えるよう、適切な P P P 手法を選択する。

方針3 積極的な P P P 活用に向けた職員の意識改革

サービスの質の向上、コスト削減や事務の効率化の実現に向けて、P P P 活用を積極的に推進し、職員の意識改革を図る。

P F I、指定
管理者制度、
民間委託、
労働者派遣等
民間活力の
活用を推進

本市における主な民間活力の活用事例

証明発行等 窓口業務

中央区役所区民課の窓
口業務の一部

図書館 窓口業務

図書館窓口業務の一部

給食調理 業務委託

小学校給食調理業務の
一部

一般ごみ収集 運搬業務

一般ごみ収集運搬業務の
一部

滞納整理業務

市税等の電話による納税
勧奨業務

コールセンター 運営業務

市民からの市政等に関す
る問い合わせ・申込受付

指定管理者 制度

ホール、公園、スポーツ・福祉施設、斎場、駐車場等 155施設で導入

労働者派遣

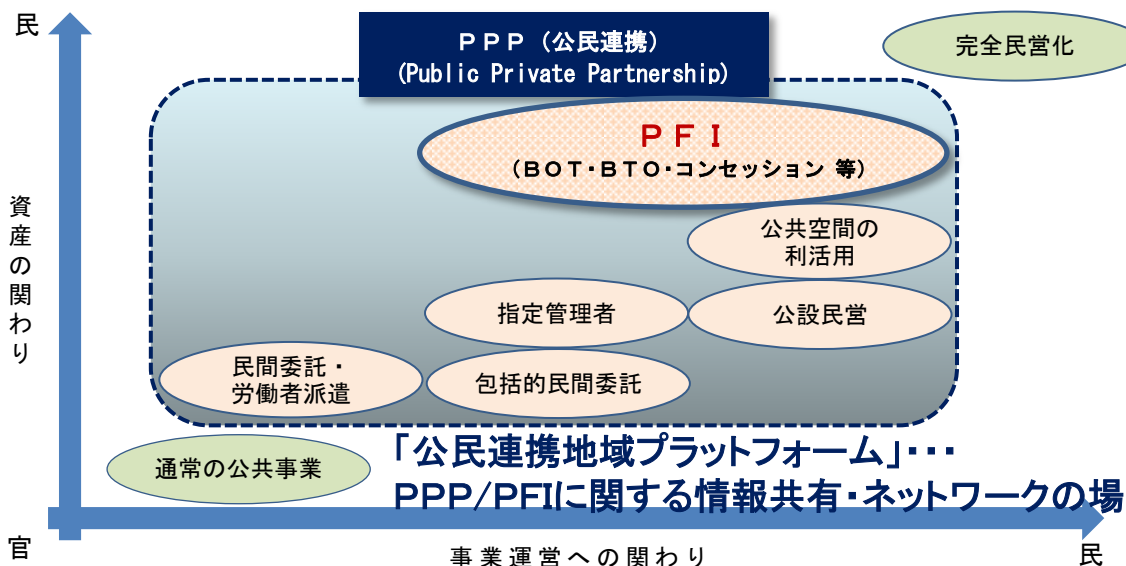
本庁舎電話交換業務、広報紙・市HP編集業務、データ入力業務 等

しかし……

市有財産の利活用や収益施設の併設など、市民満足度を高める民間のアイデアやノウハウの把握、民間参入の可能性などを考慮した公民連携による案件形成が進んでいない。

20政令指定都市のうち、PFI手法の導入実績が「0」なのは本市のみ

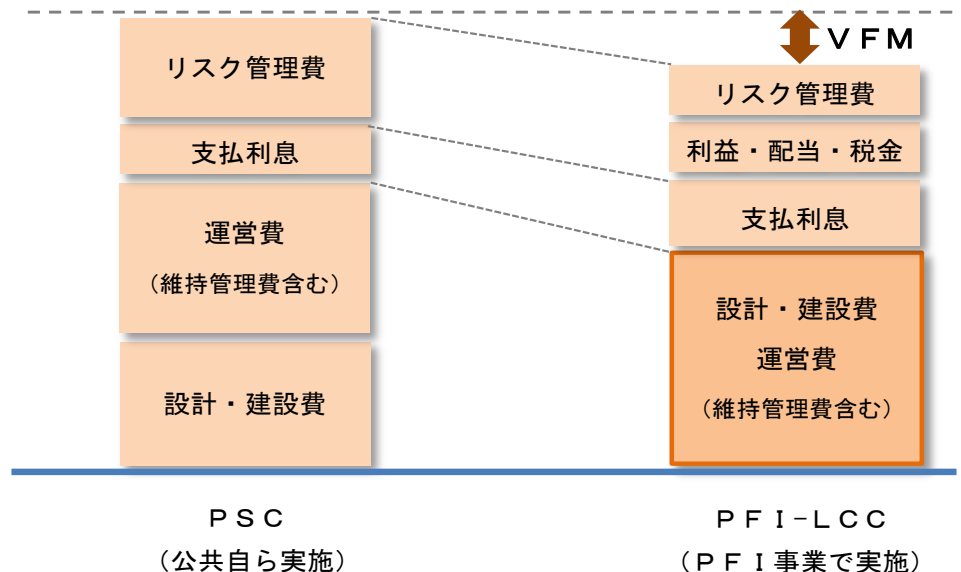
PPP/PFIの基本的な考え方



OPFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)・・・
PFI法に基づき、公共施設等の設計・建設、維持管理・運営を包括的に委ね、民間の資金、経営・技術的能力を活用し、行政が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスの提供を図る事業手法

OVFM(バリューフォーマネー)・・・
 PFI事業では、税金の負担が生じるほか、民間が資金調達することによる支払利息が増加します。
 一方、**設計・建設費及び運営費は、一括発注や性能発注、民間の創意工夫による効率化により、従来手法と比較して、トータルコストの縮減が期待できます。**

公的財政負担の見込額



1 低廉かつ良質な公共サービスの提供

・民間の経営能力や技術的能力の活用し、設計・建設・維持管理・運営を一体的に扱うことによる効率化によるコスト縮減、サービスの向上

2 財政負担の平準化

・民間が資金を調達し、公共は民間事業者に契約期間にわたって長期にサービス提供の対価を支払うため、行政自ら実施した場合に比べ、財政負担が平準化

3 公民の新たなパートナーシップの形成

・民間事業者の自主性や創意工夫を尊重して業務を委ねることにより、行政と民間事業者、民間事業者間の異業種交流による新たなパートナーシップが形成

4 民間の事業機会の創出

・これまで行政が担ってきた事業を民間に委ねることにより、民間にとって新たな事業機会や雇用を創出

デメリット

PFI事業は、長期にわたり民間に幅広い業務を任せることになるため、価格だけでなく、企業が持つノウハウや事業計画・資金計画について、PFI法に基づき透明性を確保して評価する必要がある。よって、事業手法の検討～実施内容の決定～事業者の選定～事業の実施までの実施プロセスは、従来手法と比べて時間を要する。

行政と民間の対話の機会や場が不足しているのではないか？

- 行政、地元企業におけるPPP／PFIに関する知識・経験、ノウハウが不足
- PPP／PFIの案件形成を担う人材が不足
- PFIの実績がなく、**公共施設の整備等に関する情報共有や対話の仕組みが未整備**
- 地元企業にとっては、PPP／PFIは地元企業の**受注機会減少につながる**との懸念



行政、企業・団体、金融機関、大学等が連携し、
PPP／PFIのノウハウの習得や情報の共有化、ネットワーク作りを行い、
相模原市におけるPPP／PFI事業の案件形成能力の向上を高めていく場
＝「公民連携地域プラットフォーム」が必要

公民連携地域プラットフォームとは

福岡市、岡山市、神戸市、浜松市、習志野市、盛岡市、富山市などが先進的に取り組んでいる

【経済財政運営と改革の基本方針2015（骨太方針）】

PPP/PFI手法の開発・普及等を図る地域プラットフォームについて、全国的な体制整備を計画的に推進し、地域の産官学金による連携強化、優良事例の全国への普及、地方公共団体や民間の能力向上等を図る。

<地域プラットフォーム>

地域の企業、金融機関、地方自治体等が集まり、PPP/PFI事業のノウハウ習得と案件形成能力の向上を図り、具体的な案件形成を目指した取り組みを推進する。



地域プラットフォーム形成に向けた取組

【地域プラットフォームの形成】

- PPP/PFI地域プラットフォームの形成にモデル的に取り組もうとする地方公共団体を募集して支援。
- 関係省庁の地方支分部局と連携して、地方ブロック単位でPPP/PFI地域プラットフォームの立ち上げを支援。

【全国的な展開に向けた取組み】

- 各地域でのPPP/PFI地域プラットフォームの形成を支援するため、中央の省庁、団体等が連携。
- 優良事例の発掘や地域プラットフォーム運用マニュアルの作成等、情報提供等の実施。

(例)福岡PPPプラットフォーム

【目的】地場企業がPPP/PFI事業を受注できるようにすること。

- ・ ノウハウ習得
- ・ 受注する競争力強化



出典：内閣府

本市の公民連携地域P F形成に向けたサポート（日本総合研究所 様）

地域プラットフォームが行う以下の取組に対して、実践ノウハウを有するコンサルタントを派遣し、セミナー等の開催（3回程度）を支援するとともに、計画・設置段階から支援終了後の継続的な運営体制の構築までをサポート

出典：内閣府資料

- 事例研究を通じたPPP/PFIのノウハウ習得
- PPP/PFIの具体案件についての官民対話
- 異業種間のネットワーク形成
- 民間提案の試行 等



- ・ 具体のPPP/PFI案件の形成
- ・ 継続的な運営体制の構築
- ・ 民間提案の推進
- ・ 事業のバンドリング、広域化

平成27年度内閣府支援地域

<p>習志野市（千葉県） 民間を活用した公共施設再編</p> 	<p>浜松市（静岡県） 大合併後の公共資産経営</p> 	<p>神戸市（兵庫県） 民間提案の促進</p> 	<p>岡山市（岡山県） 未利用公有資産の有効活用</p> 	<p>福岡市等（福岡県） 地域の枠を越えた官民ネットワーク形成</p> 
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成28年度内閣府支援地域

<p>盛岡市（岩手県） 公共施設マネジメントの最適な実施</p> 	<p>富山市等（富山県） 公共施設の最適配置とコンパクトなまちづくりの推進</p> 	<p>福井銀行等（福井県） 北陸新幹線開業等に伴う周辺開発への民間活力導入</p> 	<p>滋賀大学等（滋賀県） 大学が主体となり、県と11市町村が参加する広域的取組</p> 	<p>佐世保市（長崎県） 西九州部北部地域における将来的な広域連携の推進</p> 
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**今後も、市は民間事業者の皆様と連携を進め、
効率的・効果的な行政サービスの提供を図ります。**

【PPP／PFI推進担当】

相模原市 企画財政局 企画部

経営監理課

042-769-9240

keieikanri@city.sagamihara.kanagawa.jp